

正確な情報で的確な行動を！

災害時には、避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)や避難所の開設状況などの重要な情報を市から発信しています。情報を収集し、落ち着いて早めの行動を心掛けましょう。

情報入手手段は？

情報の入手には次のような手段があります。複数の手段を準備しておき、確実に情報を受け取れるようにしておきましょう。

●とぼメール

登録制の市の情報配信サービス

●緊急速報メール(エリアメール)

各種携帯会社の対応機種を持つかたで、市内にいれば、登録不要・無料で情報を受け取ることができます。

●テレビ、ラジオ、インターネット

●防災行政無線関係

屋外拡声子局スピーカー、戸別受信機
防災ラジオ

●市ホームページ ●市フェイスブック

●防災みえ.jp

(三重県内の防災情報を提供するサイト)

とばメール登録方法



こちらのQRコードから
メールしてください。

または、次のメールアドレスに空メールを送信し、折り返し届くメールから登録手続きをしてください。

✉ t-toba@sg-m.jp



停電の情報入手手段は？

8月と9月に発生した台風20号・21号では、強風による倒木や飛来物による電線の断線などが原因で停電が発生しました。停電・復旧情報については、中部電力のホームページを確認してください。また、市ホームページや市フェイスブックでも発信しています。

子どもには、何でも自分でやりたがる時期があります。とにかく何でもかんでもやりたくて、大人が手伝おうとするとひどく怒ります。しかし、自分でできることと、やりたいことに差があるために思うようにいかなくて、さらに怒り出すということもあります。太泣きをされて困り果てたというかたもいるのではないのでしょうか。

そんな時は、できない部分をそつと手伝いながら自分でできた達成感を味わってもらうことが大切です。

また、自分でできるのに「ママがやって」と頼まれることもあります。甘えたい気持ちからですが、「できることをやってあげると癖になるのではないか」とためらうかたや「できることとできないなくなってしまう

のではないか」と心配する
かたもいます。しかし、こ
の心配は無用です。甘えた
い気持ちを十分受け止めて
やれば自分でできるように
なりますし「やってみよ
う」という意欲につながっ
ていきます。

「自分でやる」と言った
り「やって」と言ったりし
てどうしたのかよく分か
らないこともあります。が、
今はこんな時期なんだと思
うことが大切です。子ども
自身も気持ちのコントロ
ールがうまくできなくて、よ
く分からないのです。です
から大人は、目の前の言動
だけに注目せず、成長の過
程として受け止めてあげま
しょう。このような積み重
ねの中で徐々に気持ちのコ
ントロールができるように
なっています。

